

KMバイオロジクス 標準ワクチネーションプログラム

レイヤー・種鶏

(日齢)

ワクチン略名	1	4	14	28	60	100	120
MD生 (卵内接種※1 18~19日齢)	↓						
ND生	1 ↓ ※2	4 ↓	↓ ※3	↓	↓		↓
IB生	1 ↓	↓ ※3	14 ↓	↓	↓		↓
NB生	1 ↓	↓ ※3	14 ↓	↓	↓		↓
ILT生			14 ↓	28 ↓		70 ↓	90 ↓
IBD生(弱毒)※5		7 ↓	↓	(↓)	28 ↓ (移行抗体のばらつきに 応じ2回以上投与する)		
IBD生(中等毒)※5			14 ↓	↓	28 ↓		
MG EDS Reo NB2 5R 6R 7R						70 ↓ ※4	90 ↓
NB2G NB2GR						70 ↓ ※4	140 ↓

オイルワクチンを使用しない場合は、
大雛期以降3か月毎に投与する

※1：卵内接種は、アビテクト® MD1 に適用あり。

※2：移行抗体が高い場合は、1~4日齢のND生投与を省略できる。その場合、初期投与時期は移行抗体を考慮する。

※3：単味・混合を組み合わせて、それぞれの抗原(ND及びIB)に対して3回以上投与することが望ましい。

※4：混合不活化ワクチン(オイルボックスシリーズ)を使用する場合、若齢期に基礎免疫としてND及びIB生ワクチンを使用する。大雛期に使用する場合、中雛期のND、IB、IC対策の必要性も考慮する。

このほか、必要に応じて鶏痘生ワクチン、AE生ワクチンなどを使用する。

※5：以下、IBD生(弱)・IBD生(中)とする。

参考：鶏病研究会報「総合ワクチネーションプログラム 2017」

ワクチン略名	製品名	ワクチン略名	製品名
MD生	アビテクト® HVT (HVT) アビテクト® MD1 (CVI)	MG	オイルボックス® MG
ND生	ND生ワクチン「KMB」S (MET95株)	EDS	オイルボックス® EDS-76
IB生	鶏伝染性気管支炎生ウイルス予防液 (練馬株) IB TM生ワクチン「KMB」 (TM-86w株) アビテクト® IB/AK (AK01株)	Reo	オイルボックス® Reo
NB生	ニューカッスル・IB混合生ワクチン「KMB」 (ND(B1株)、IB(練馬株)) アビテクト® NB/TM (ND(MET95株)、IB(TM-86w株))	NB2	オイルボックス® NB2 (ND(石井株)、IB(TM-86EC株) 練馬E10株)
ILT生	ILT生ワクチン「KMB」	5R	オイルボックス® 5R (ND(石井株)、IB(TM-86EC株) 練馬E10株)、IC(AC融合) 抗原)
IBD生(弱)	IBD生ワクチン「KMB」L	6R	オイルボックス® 6R (ND(石井株)、IB(TM-86EC株) 練馬E10株)、IC(AC融合) 抗原)、MG
IBD生(中)	アビテクト® IBD/TY2	7R	オイルボックス® 7R (ND(石井株)、IB(TM-86EC株) 練馬E10株)、IC(AC融合) 抗原)、MG、EDS
		NB2G	オイルボックス® NB2G (ND(石井株)、IB(TM-86EC株) 練馬E10株)、IBD
		NB2GR	オイルボックス® NB2GR (ND(石井株)、IB(TM-86EC株) 練馬E10株)、IBD、Reo

■ ワクチンご使用の際は使用説明書をよくお読みください ■

KMバイオロジクス株式会社 KM1901-2